

市長への 手紙から

富士川緑地に水洗トイレの増設を

今回は、国久保二丁目にお住まいの鈴木さんから、富士川緑地のトイレについてお手紙をいただきましたので、ご紹介します。



鈴木尚子さん

「市長への手紙」から

富士川の河川敷にある富士川緑地のくみ取り式のトイレは、大人が入るのにも怖いと思うほど。また、水洗トイレは離れたところにあり、とても不便です。いろいろな公園でトイレが整備されているのに、ここは設備面でも劣っているし、数も不足しているように感じます。どうか早急に水洗トイレを多く設置していただきたいと思えます。

「市長からの回答」

市長への手紙をお寄せいただきありがとうございます。富士川緑地には現在、十か所のくみ取り式トイレと、緑地の中央入り口（堤防の東側）

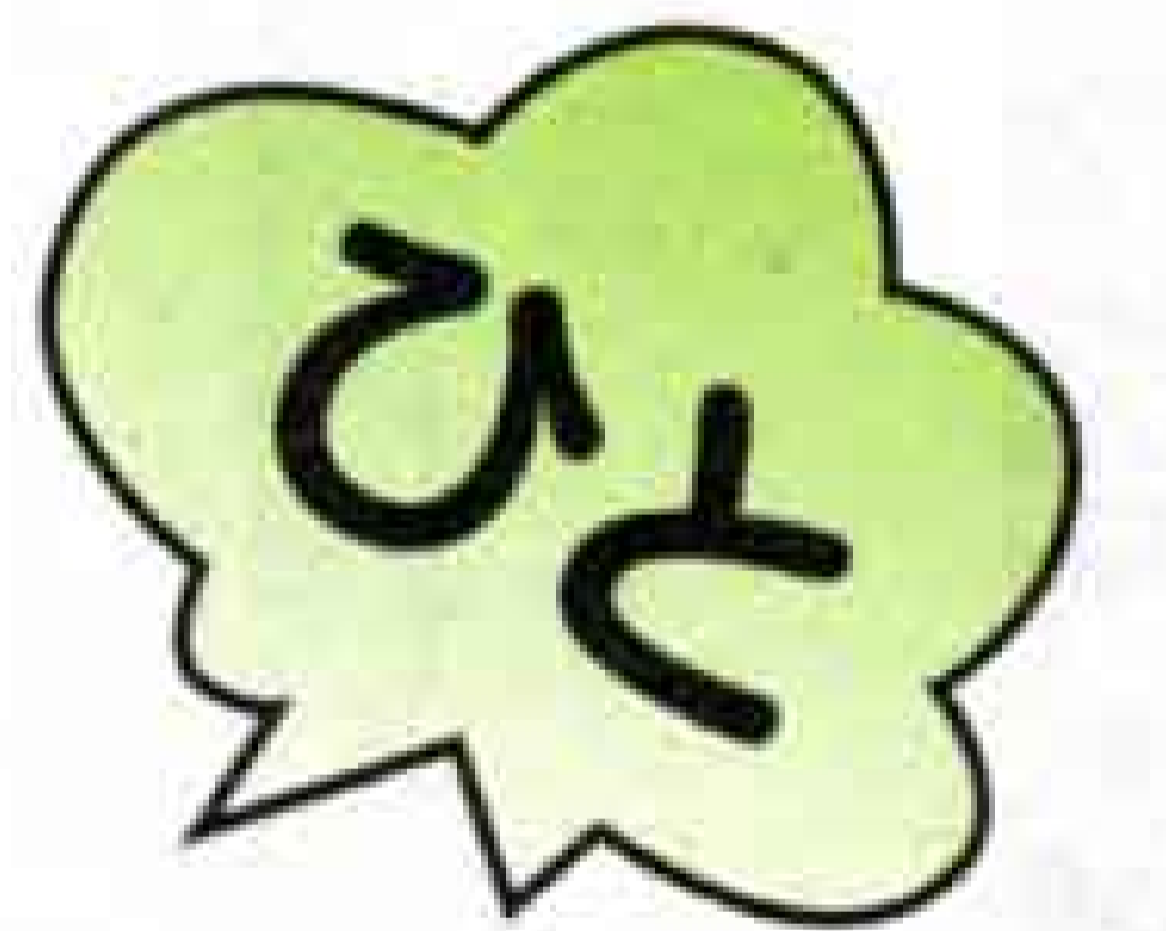
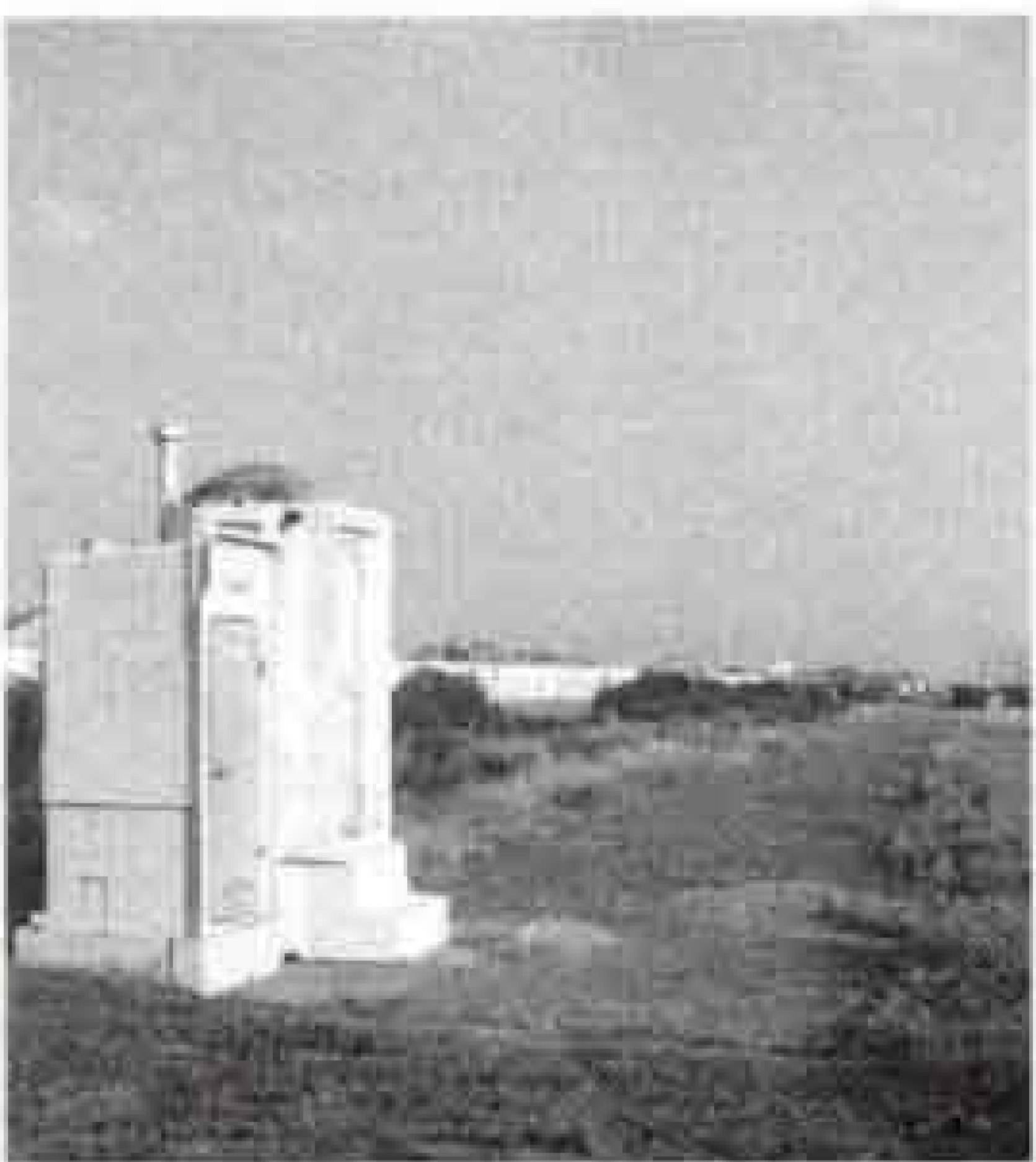
十分な点もあり、ご迷惑をおかけしていますが、トイレの清掃などは常時行っています。また、心ない人によってトイレの扉などが壊されていることもあり、管理には苦慮しているのが現状です。

ご提言にありました水洗トイレの増設要望ですが、当緑地は富士川河川敷地内を建設省から占用使用していることから、トイレやそのほかの構造物の設置に対して制限があります。つまり、洪水時などの防災上の面から、河川法により固定された構造物は認められず、すべて移動式の簡易トイレの設置しか許可されません。

りに水洗トイレ一か所を設置してあります。くみ取り式のトイレについては、土・日曜日の利用者が多く、使用頻度の関係で不

しかしながら、ご指摘のように富士川緑地は多くの皆さんが利用していますので、今後、あらゆる手法・制度を研究し、水洗トイレの設置に向けて努力していきます。

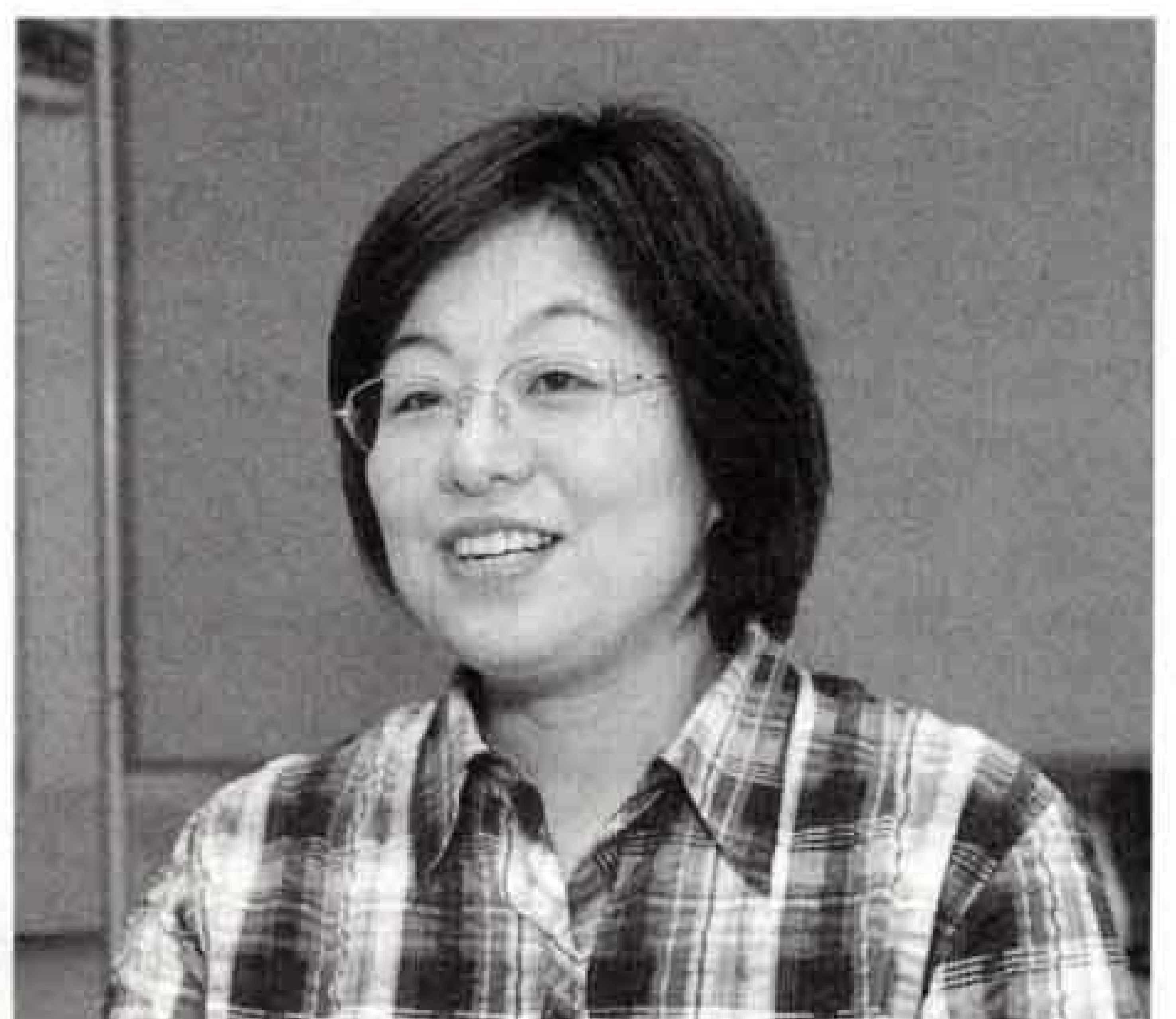
問い合わせ
みどりの課 内線二六六一



子育てを通じた仲間づくりを応援する「子育てサークル育成アドバイザー」

金澤 敬子さん

(横割4丁目)



金 澤さんは、富士市でただ一人の「子育てサークル育成アドバイザー」。アドバイザーの主な活動は、県から委託を受けて講座を開催したり、子育てサークルからアドバイスの依頼があったとき、県の子育て支援室を通じて対応したり、育成活動をしたりすることです。

二児の母でもある金澤さんは根っからの「子供好き」。アドバイザーになったきっかけは、「二昨年の秋、県の広報紙に載っていた募集記事を見て応募しました。下の子が翌年幼稚園に通い始めるので、子育ての負担も軽くなり、自分の経験を生かすことができそうと思ったことからです。夫も後押ししてくれました」とのことです。

ことしは母親、親子、マタニティーママを対象に、「にこにこサロン」と名づけた講座を開

催。自分自身の子育て、子育てサークルでの活動経験、私立幼稚園教諭の経験、多彩な「遊びの実践術」を生かし、子育ての仲間づくりを応援しています。金澤さんは、「子育てママがいつもにこにこできる環境は大切です。お母さんの笑顔は子供に安心感を与えてくれます。サークル活動を通じ、母親同士がお互いの気持ちを共有できるとすてきですね」と温かな笑顔で話してくれました。



▲金澤さんが講師を務める富士見台公民館の「家庭教育講座」での一コマ